Section 01

Xperia Ace Ⅱ SO-41Bについて

Xperia Ace Ⅱ SO-41Bは、ドコモから発売されたソニーモバイルコミュニケーションズ製のスマートフォンです。Googleが提供するスマートフォン向けOS「Android」を搭載しています。

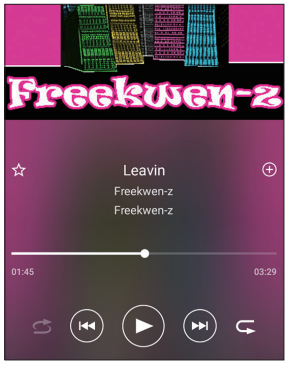
SO-41Bの各部名称を覚える

❶	ヘッドセット接続端子	❾	カメラレンズ
❷	フロントカメラレンズ	❿	フラッシュ／フォトライト
❸	通知LED	⓫	音量キー／ズームキー
❹	受話口	⓬	電源キー／指紋センサー
❺	近接／照度センサー	⓭	Googleアシスタントキー
❻	ディスプレイ	⓮	USB Type-C接続端子
❼	送話口／マイク	⓯	nanoUIMカード／microSDカード挿入口
❽	スピーカー		

SO-41Bの特徴

Xperia Ace II SO-41Bは、Android 11を搭載したスマートフォンです。コンパクトサイズながらもフレームいっぱいに広がるディスプレイが特徴で、指紋認証やおサイフケータイなど、必要な機能を十分に備えています。また、メインカメラはレンズを2つ搭載し、背景をぼかしたような雰囲気ある写真もかんたんに撮影することができます。もちろん、従来の携帯電話のように通話やメール、インターネットも利用できます。なお、本書ではSO-41Bと型番で表記します。

コンパクトサイズにもかかわらず大きな画面を搭載。Webページや地図なども見やすく表示できます。



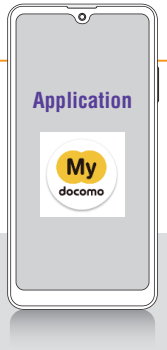
3.5mmオーディオジャックを搭載しているので、お手持ちのヘッドフォンをそのまま使用できます。

2つのレンズを搭載し、背景をぼかした撮影が可能です。シーンに応じた最適な設定で撮影できます。

大容量バッテリーを搭載し、Xperia独自の充電最適化技術により劣化しにくくなっています。

Section 12

ドコモのID・パスワードを設定する



SO-41Bにdアカウントを設定すると、NTTドコモが提供するさまざまなサービスをインターネット経由で利用できるようになります。また、あわせてspモードパスワードの変更も済ませておきましょう。

dアカウントとは

「dアカウント」とは、NTTドコモが提供しているさまざまなサービスを利用するためのIDです。dアカウントを作成し、SO-41Bに設定することで、Wi-Fi経由で「dマーケット」などのドコモの各種サービスを利用できるようになります。

なお、ドコモのサービスを利用しようとすると、いくつかのパスワードを求められる場合があります。このうちspモードパスワードは「お客様サポート」(My docomo)で変更やリセットができますが、「ネットワーク暗証番号」はインターネット上で再発行できません（P.42手順②の画面で変更は可能）。番号を忘れないように気を付けましょう。さらに、spモードパスワードを初期値（0000）のまま使っていると、変更をうながす画面が表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従ってパスワードを変更しましょう。

なお、ドコモショップなどですでに設定を行っている場合、ここでの設定は必要ありません。また、以前使っていた機種でdアカウントを作成・登録済みで、機種変更でSO-41Bを購入した場合は、自動的にdアカウントが設定されます。

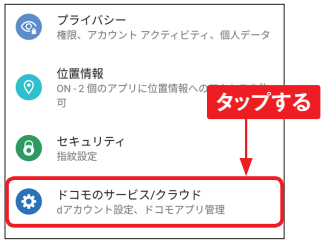
ドコモのサービスで利用するID ／パスワード	
ネットワーク暗証番号	お客様サポート（My docomo）や、各種電話サービスを利用する際に必要です（P.39参照）。
dアカウント／パスワード	Wi-Fi接続時やパソコンのWebブラウザ経由で、ドコモのサービスを利用する際に必要です。
spモードパスワード	ドコモメールの設定、spモードサイトの登録／解除の際に必要です。初期値は「0000」ですが、変更が必要です（P.42参照）。

MEMO dアカウントとパスワードはWi-Fi経由でドコモのサービスを使うときに必要

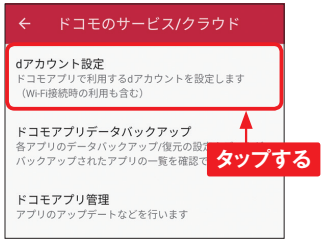
4G／LTE回線を利用しているときは不要ですが、Wi-Fi経由でドコモのサービスを利用する際は、dアカウントとパスワードを入力する必要があります。

dアカウントを作成する

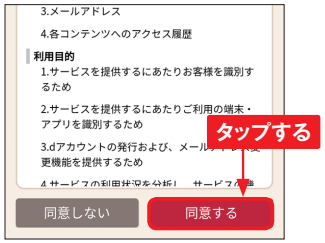
① P.20を参考に「設定」アプリを起動して、＜ドコモのサービス／クラウド＞をタップします。



② ＜dアカウント設定＞をタップします。「機能利用の許可」の画面が表示されたら、＜利用の許可へ＞をタップし、＜許可＞→＜許可＞とタップします。



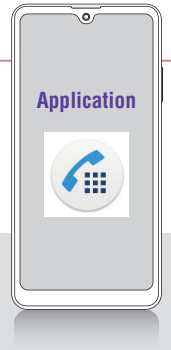
③ 「ご利用にあたって」画面が表示されたら、内容を確認して、＜同意する＞をタップします。「はじめに」画面が表示されたら、＜次へ＞をタップして進みます。



④ 「dアカウント設定」画面が表示されたら、新規に作成する場合は、＜新たにdアカウントを作成＞をタップします。

⑤ ネットワーク暗証番号を入力して、＜OK＞をタップします。

電話をかける・受ける

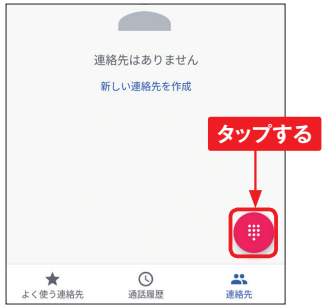


電話操作は発信も着信も非常にシンプルです。発信時はホーム画面のアイコンからかんたんに電話を発信でき、着信時はドラッグまたはタップ操作で通話を開始できます。

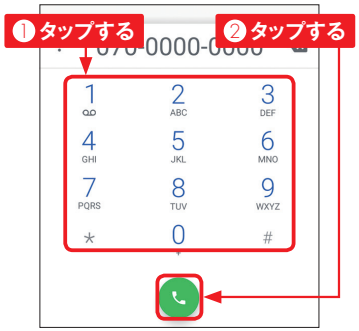
電話をかける

① ホーム画面で📞をタップします。

② 「電話」アプリが起動します。📞をタップします。



③ 相手の電話番号をタップして入力し、📞をタップすると、電話が発信されます。



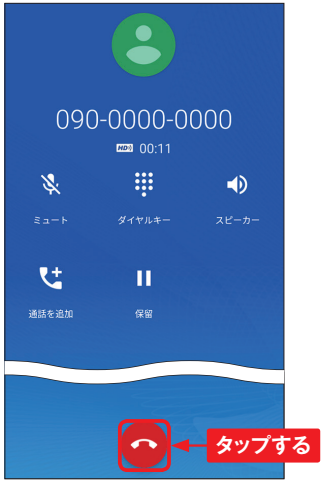
④ 相手が応答すると通話が始まります。📞をタップすると、通話が終了します。

電話を受ける

① 電話がかかってくると、着信画面が表示されます（スリープモードの場合）。📞を上方向にスワイプします。また、画面上部に通知で表示された場合は、＜電話に出る＞をタップします。

② 相手との通話が始まります。通話中にアイコンをタップすると、ダイヤルキーなどの機能を利用できます。

③ 📞をタップすると、通話が終了します。

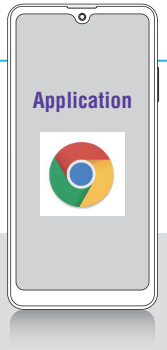


MEMO スグ電とは

SO-41Bでは、着信中に特定のジェスチャーを行うことで、電話に応答したり、拒否したりできる「スグ電」が利用可能です。P.44の手順①で「電話」アプリを起動し、右上の⋮をタップし、＜設定＞→＜通話＞→＜スグ電設定＞の順にタップして設定を行うことで、下記のようなジェスチャーで操作できます。

耳元に当てる	電話に応答する
2回振る	電話を拒否する
下向きに置く	着信音を消す

Webページを閲覧する



SO-41Bでは、「Chrome」アプリでWebページを閲覧できます。Googleアカウントでログインすることで、パソコン用の「Google Chrome」とブックマークや履歴の共有が行えます。

Webページを閲覧する

① ホーム画面を表示して、をタップします。初回起動時はアカウントの確認画面が表示されるので、＜同意して続行＞をタップし、「Chromeにログイン」画面でアカウントを選択して＜有効にする＞の順にタップします。ライトモードに関する画面が表示されたら、＜ライトモードをオンにする＞をタップします。

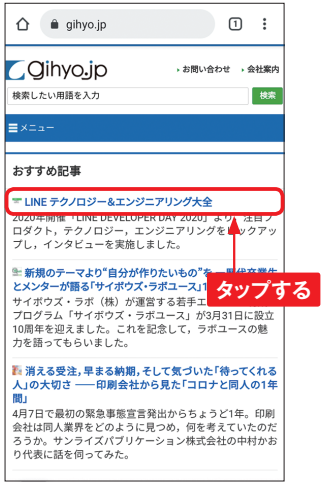
② 「Chrome」アプリが起動して、Webページが表示されます。「アドレスバー」が表示されない場合は、画面を下方向にスライドすると表示されます。

③ 「アドレスバー」をタップし、URLを入力して、→をタップします。

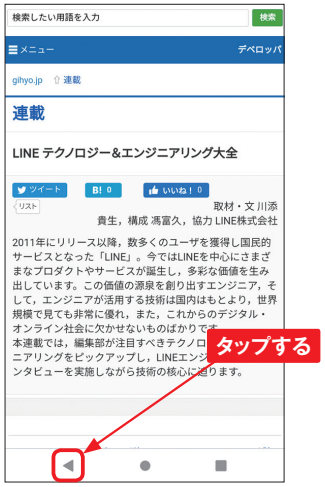
④ 入力したURLのWebページが表示されます。

Webページを移動・更新する

① Webページの閲覧中に、リンク先のページに移動したい場合、ページ内のリンクをタップします。



② ページが移動します。◀をタップすると、タップした回数分だけページが戻ります。



③ 画面右上のをタップして、→をタップすると、前のページに進みます。

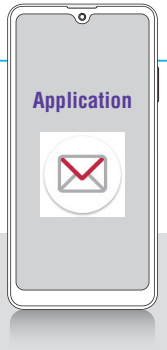
④ をタップして、↻をタップすると、表示しているページが更新されます。

MEMO 「Chrome」アプリの更新

「Chrome」アプリの更新がある場合、手順①の画面で、右上のが🔴になっていることがあります。その場合は、🔴→＜Chromeを更新＞→＜更新＞の順にタップして「Chrome」アプリを更新しましょう。

Section 25

SO-41Bで使えるメールの種類



SO-41Bでは、ドコモメール（@docomo.ne.jp）やSMS、+メッセージを利用できるほか、GmailおよびYahoo!メールなどのパソコンのメールも使えます。

ドコモメール

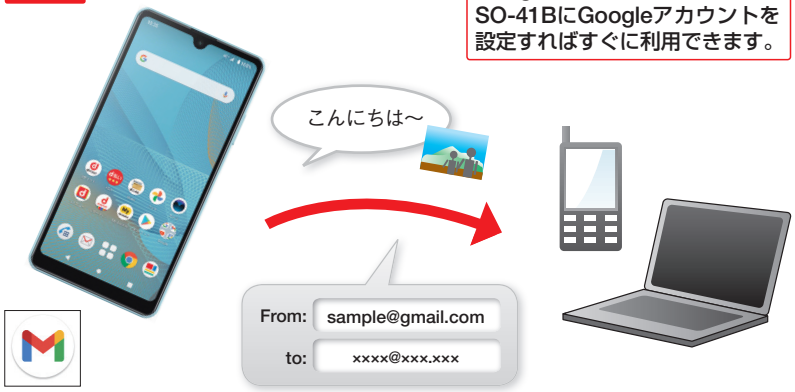
NTTドコモの提供するメールです。「@docomo.ne.jp」のアドレスが使えます。iモードと同じアドレスが使用可能です。

SMSと+メッセージ

相手の携帯電話番号宛にメッセージを送信します。従来のSMSとそれを拡張した+メッセージ（P.77 MEMO参照）を利用できます。

Gmail

Googleが提供するメールです。SO-41BにGoogleアカウントを設定すればすぐに利用できます。



PCメール

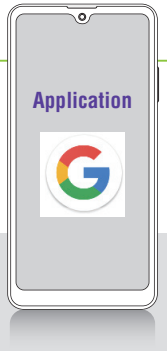
パソコンで使用しているメールが使えます。複数のメールアカウントを登録することも可能です。

MEMO +メッセージについて

+メッセージは、従来のSMSを拡張したものです。宛先に相手の携帯電話番号を指定するのはSMSと同じですが、文字だけしか送信できないSMSと異なり、スタンプや写真、動画などを送ることができます。ただし、SMSは相手を問わず利用できるのに対し、+メッセージは、相手も+メッセージを利用している場合のみやり取りが行えます。相手が+メッセージを利用していない場合は、SMSとして文字のみが送信されます。+メッセージは、NTTドコモ、au、ソフトバンクのAndroidスマートフォンとiPhoneで利用できます。

Section 33

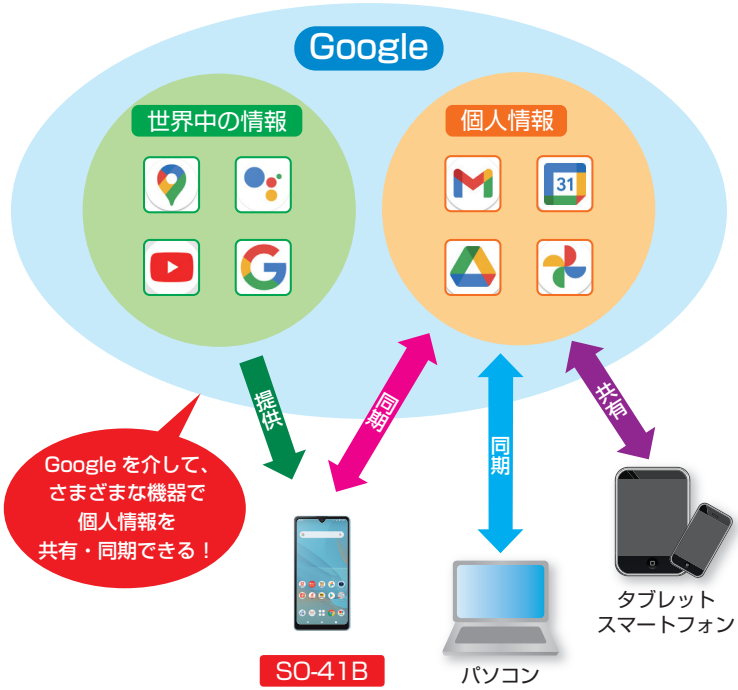
Googleのサービスとは



Googleは、地図、ニュース、動画などのさまざまなサービスをインターネットで提供しています。専用のアプリを使うことで、Googleの提供するこれらのサービスをかんたんに利用することができます。

Googleのサービスでできること

GmailはGoogleの代表的なサービスですが、そのほかにも地図、ニュース、動画、SNS、翻訳など、さまざまなサービスを無料で提供しています。また、連絡先やスケジュール、写真などの個人データをGoogleのサーバーに保存することで、パソコンやタブレット、ほかのスマートフォンとデータを共有することができます。



Googleのサービスと対応アプリ

Googleのほとんどのサービスは、Googleが提供している標準のアプリを使って利用できます。最初からインストールされているアプリ以外は、Google Playからダウンロードします（Sec.34 ～ 35参照）。また、Google製以外の対応アプリを利用することもできます。

サービス名	対応アプリ	サービス内容
Google Play	Playストア	各種コンテンツ（アプリ、書籍、映画、音楽）のダウンロード
Googleニュース	Googleニュース	ニュースや雑誌の購読
YouTube Music	YouTube Music（YT Music）	音楽の再生、オンライン上のプレイリストの再生など
Gmail	Gmail	Googleアカウントをアドレスにしたメールサービス
Googleマップ	マップ	地図・経路・位置情報サービス
Googleカレンダー	Googleカレンダー	スケジュール管理
Google ToDoリスト	ToDoリスト	タスク（ToDo）管理
YouTube	YouTube	動画サービス
Google翻訳	Google翻訳	多言語翻訳サービス（音声入力対応）
Googleフォト	Googleフォト	写真・動画のバックアップ
Googleドライブ	Googleドライブ	文書作成・管理・共有サービス
Googleアシスタント	Google	話しかけるだけで、情報を調べたり端末を操作したりできるサービス
Google Keep	Google Keep	メモ作成サービス

MEMO Googleのサービスとドコモのサービスのどちらを使う？

「ドコモ電話帳」アプリと「スケジュール」アプリのデータの保存先は、Googleとドコモで同様のサービスを提供しているため、どちらか1つを選ぶ必要があります。ふだんからGoogleのサービスを利用していて、それらのデータを連携させたい人はGoogleを、Googleのサービスはあまり利用していないという人はドコモを選ぶとよいでしょう。

Googleのサービスを利用する場合は、連絡先の保存先（P.54手順②参照）でGoogleアカウントを選び、スケジュール管理には「Googleカレンダー」アプリを使ってください。一方、ドコモを利用する場合は、連絡先の保存先に「docomo」を選び、スケジュール管理に「スケジュール」アプリを使います。

Section 42

my daizを利用する

「my daiz」は、話しかけるだけで情報を教えてくれたり、ユーザーの行動に基づいた情報を自動で通知してくれたりするサービスです。使い込めば使い込むほど、さまざまな情報を提供してくれます。

my daizの機能

my daizは、登録した場所やプロフィールに基づいた情報を表示してくれるサービスです。有料版を使用すれば、ホーム画面のmy daizのアイコンが先読みして教えてくれるようになります。また、直接my daizと会話して質問したり本体の設定を変更したりすることもできます。

●アプリで情報を見る

「my daiz」アプリで「NOW」タブを表示すると、道路の渋滞情報を教えてくれたり、帰宅時間に雨が降りそうな場合に傘を持っていくよう提案してくれたりなど、ユーザーの登録した内容と行動に基づいた情報が表示されます。

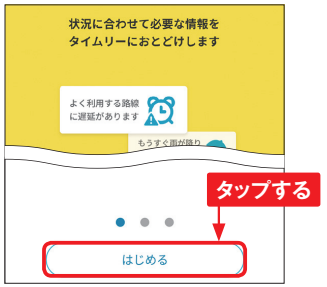
●my daizと会話する

「my daiz」アプリで「マイデイズ」と話しかけると、対話画面が表示されます。マイクアイコンをタップして話しかけたり、キーボードから文字を入力したりすることで、天気予報の確認や調べ物、アラームやタイマーなどの設定ができます。

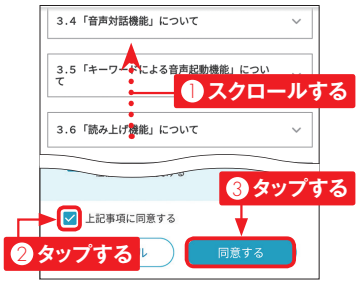
my daizを利用できるようにする

① ホーム画面で＜アプリ一覧ボタン＞をタップし、＜my daiz＞をタップします。

② 初回起動時は機能の説明画面が表示されます。＜はじめる＞→＜次へ＞の順にタップし、＜アプリの使用時＞もしくは＜許可＞を何回かタップします。



③ 初回は利用規約が表示されるので、上方向にスクロールして「上記事項に同意する」のチェックボックスをタップしてチェックを付け、＜同意する＞をタップします。

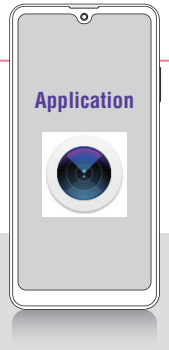


④ 「my daiz」が起動します。≡をタップしてメニューを表示し、＜設定＞をタップします。

⑤ ＜プロフィール＞をタップしてdアカウントのパスワードを入力すると、さまざまな項目の設定画面が表示されます。未設定の項目は設定を済ませましょう。

⑥ 手順④のあとに＜コンテンツ・機能＞をタップすると、ジャンル別にカードの表示や詳細を設定できます。

写真や動画を撮影する

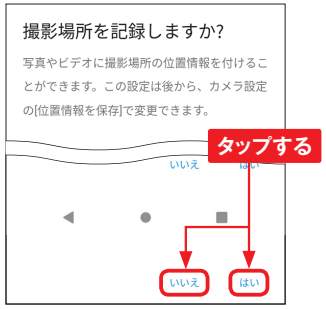


SO-41Bは2つのレンズによる高解像度のカメラを搭載しています。「フォト」や「ビデオ」などの撮影モードのほか、さまざまな撮影オプションを利用することができます。

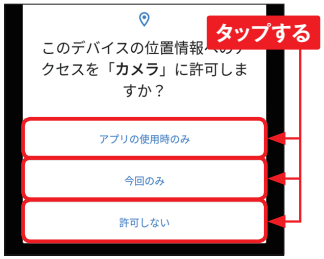
「カメラ」アプリの初期設定を行う

① ホーム画面で<カメラ>をタップします。

② 「撮影場所を記録しますか?」と表示されたら、<いいえ>もしくは<はい>をタップします。



③ 「このデバイスの位置情報へのアクセスを「カメラ」に許可しますか?」と表示されたら、<アプリの使用時のみ>、<今回のみ>、<許可しない>のいずれかタップします。

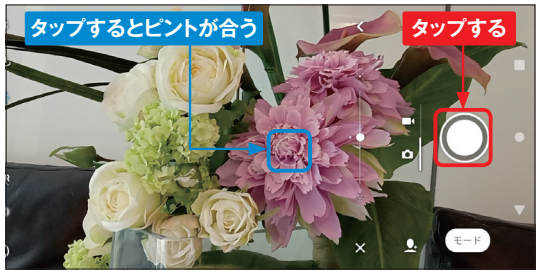


④ カメラが起動して利用可能になります。

写真を撮影する

① P.140を参考に「カメラ」アプリを起動します。画面をタップし、ピンチイン／ピンチアウトすると、ズームアウト／ズームインでき、画面上に倍率が表示されます。

② ピントを合わせたい場所がある場合は、画面をタップするとすぐにピントが合います。◯をタップすると、写真を撮影します。



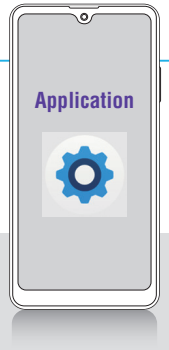
③ 撮影が終わると、画面右上に撮影した写真のサムネイルが表示されます。撮影を終了するには▼（本体が縦向きの場合は◀）をタップします。

MEMO ジオタグの有効／無効

P.140手順②で<はい>、手順③で<アプリの使用時のみ>か<今回のみ>をタップすると、撮影した写真に自動的に撮影場所の情報（ジオタグ）が記録されます。自宅や職場など、位置を知られたくない場所で撮影する場合は、オフにしましょう。ジオタグのオン／オフは、手順①の画面で⚙をタップして、<位置情報を保存>をタップすると変更できます。

Section 52

ホーム画面をカスタマイズする

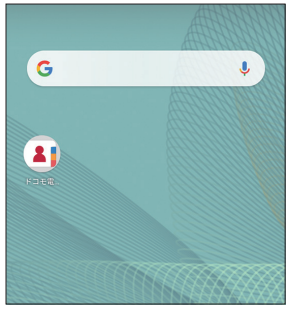


アプリー覧画面にあるアイコンは、ホーム画面に表示することができます。ホーム画面のアイコンは任意の位置に移動したり、フォルダを作成して複数のアプリアイコンをまとめたりすることも可能です。

アプリアイコンをホーム画面に表示する

① ホーム画面で＜アプリー覧ボタン＞をタップしてアプリー覧画面を表示します。移動したいアプリアイコンをロングタッチし、＜ホーム画面に追加＞をタップします。

② アプリアイコンがホーム画面上に表示されます。



③ ホーム画面のアプリアイコンをロングタッチします。

④ ドラッグして、任意の位置に移動することができます。左右のホーム画面に移動することも可能です。

アプリアイコンをホーム画面から削除する

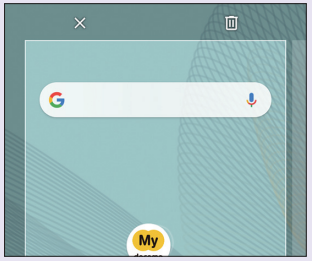
① ホーム画面から削除したいアプリアイコンをロングタッチします。

② ＜削除＞までドラッグします。

③ ホーム画面上からアプリアイコンが削除されます。

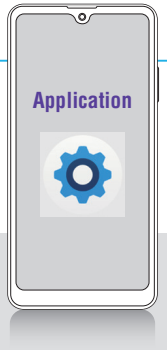
MEMO アイコンの削除とアプリのアインストール

手順②の画面で✕と🗑が表示される場合、＜×＞にドラッグするとアイコンが削除されますが、🗑にドラッグするとアプリそのものが削除（アンインストール）されます。



Section 61

ダークテーマを利用する

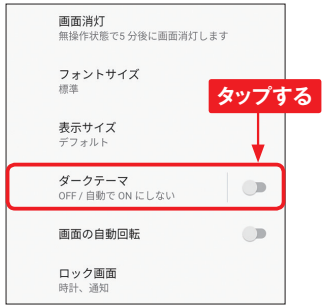


SO-41Bでは、画面全体を黒を基調とした目に優しく、省電力にもなるダークテーマを利用できます。ダークテーマに変更すると、対応するアプリもダークテーマになります。

ダークテーマに変更する

① P.20を参考に「設定」アプリを起動して、＜画面設定＞をタップします。

② ＜ダークテーマ＞をタップします。

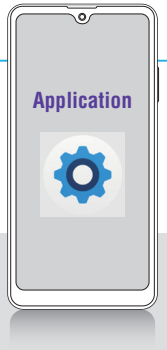


③ 画面全体が黒を基調とした色に変更されます。

④ 対応するアプリもダークテーマで表示されます。もとに戻すには再度手順①～②の操作を行います。

Section 62

ブルーライトをカットする



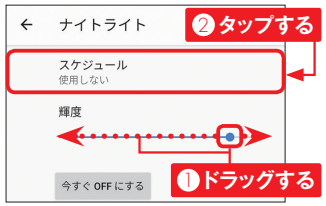
SO-41Bには、ブルーライトを軽減できる「ナイトライト」機能があります。就寝時や暗い場所で操作するときに目の疲れを軽減できます。また、時間を指定してナイトライトを設定することも可能です。

指定した時間にナイトライトを設定する

① P.20を参考に「設定」アプリを起動して＜画面設定＞→＜詳細設定＞→＜ナイトライト＞の順にタップします。

② ＜今すぐONにする＞をタップします。

③ ナイトライトがオンになり、画面が黄色みがかった色になります。●を左右にドラッグして輝度を調整したら、＜スケジュール＞をタップします。



④ ＜指定した時刻にON＞をタップします。＜使用しない＞をタップすると、常にナイトライトがオンのままになります。

⑤ ＜開始時刻＞と＜終了時刻＞をタップして設定すると、指定した時間のみ、ナイトライトがオンになります。